

指定・登録文化財の被害状況等報告 (No. 1)

○国指定史跡 仙台城跡 (青葉区)



仙台城跡は、本丸石垣や中門石垣・清水門石垣が崩落したり、変形して崩れかかったりしています。本丸東側の崖面は広い範囲が崩落し、亀裂も見られます。また、大手門から本丸に登る市道も損傷を受けています。このため、青葉山公園の一部に立入制限や、市道に通行止めとなっている箇所があります。



上：本丸石垣の崩落 (史跡外)

下：本丸跡崖地の亀裂

大きな被害の中、前回修復工事を行った本丸北側石垣には、目立った変形はありませんでした。

復旧工事にあたっては、崩落した本丸石垣が史跡指定を目指す場所にあり、その文化財的価値を損なわないよう元の姿に修復する必要があることや石垣の解体や積み直しが広範囲になること、発掘調査や道路復旧に伴うことなどから、数年を要するものと予想されます。

なお、登城路については、安全確保対策を行い、本丸跡までの歩行者ルートをできるだけ早急に確保し、皆さまにお知らせしたいと考えております。

○国指定史跡 岩切城跡 (宮城野区)



岩切城跡では、各所で崖や斜面の崩落、地割れが発生しています。西曲輪群の東側斜面の崖崩れによって落ちた岩が園路を塞いでしまいました。また、高森山公園として整備されている曲輪に亀裂が入ったり、手すりやあづまやが傾くなどの被害がありました。

現在は、被害の拡大を防ぐための応急処置を行なっています。



上：園路への落石

下：曲輪の地割れ

○国指定史跡 陸奥国分寺跡（若林区）

○国指定有形文化財 陸奥国分寺薬師堂（若林区）



境内の様子

薬師堂では、壁板の脱落や破損があったほか、連子窓の一部破損、土壁に亀裂が入るなど、大きな被害を受けました。薬師堂内に納められている須弥壇や厨子も全体が正面側へ傾いたり、組物の一部が外れかけるなどの被害がありました。現在は、状態が悪化しないように支柱を添えるなどの応急的な処置を行なっています。

史跡内では、石灯籠が転倒するなどの被害が出ましたが、立て起こしなどの復旧作業を進めています。

○市指定有形文化財 旧熊谷家住宅（泉区）



背面側土壁の亀裂と落下

引き戸など、建具の大きな破損はありませんでしたが、土壁に大きな亀裂が入り、一部が剥がれ落ちて下地が露出するなどの被害が出ています。

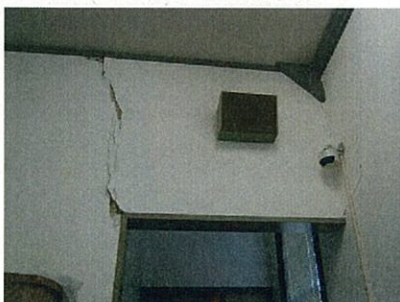
○市指定有形文化財 旧第四連隊兵舎（宮城野区）



本建物は、仙台市歴史民俗資料館として活用されています。震災では、建物の外壁・内壁に、多数の亀裂や剥離、剥落が生じました。また、風除室のガラスが割れたり、階段の手摺りが落下したりしました。

建物以外でも、陳列ケースが転倒し、破損するほか、多数の展示資料が転倒・移動しました。

5月20日（金）より修理工事を行い、工事自体は既に終了しました。7月9日（日）に再開の予定で、現在は再開に向けた展示の準備を進めているところです。



上：外壁の亀裂と剥離

下：内壁の亀裂と剥離

○市指定史跡 経ヶ峯伊達家墓所（青葉区）



伊達政宗の「瑞鳳殿」をはじめ各藩主霊屋の建物に大きな被害はありませんでした。しかし、敷地内の石垣や土塁が各所で変形・崩落し、石灯籠が転倒するなどの被害が出ています。

現在、「瑞鳳殿」本殿と資料館は観覧を再開しており、他施設についても 8 月の再開を目指し修復工事を行っています。



上：妙雲界廟石灯籠の倒壊

下：善応殿前の石垣・土塁崩落

○国登録有形文化財 荒巻配水所旧管理事務所（青葉区）



配水所の更新に伴って移転工事をしている途中で被災し、建築物の基礎・梁に亀裂が入るなど構造的に大きな被害を受けました。また、移転にあたって建物を支える仮設の架台（井桁状に組み上げた角材群）の一部が崩落し、倒壊する危険性が高まったため、支柱を立てるなどの応急措置を行なっております。



上：移転途中の状況

下：仮設の架台の一部崩落と応急処置